

No	意見の概要	意見数	市の考え方
I 各事業計画について（特に芹橋関係）			
1	事業実施が進んでいない理由は、何なののでしょうか？	1件	<p>善利組足軽組屋敷（芹橋二丁目）地区では、地域活動の拠点施設となる辻番所の保存修理および活用支援を行ってきました。</p> <p>今後、事業進捗をはかるためには、地域住民が主体となった合意形成のうえ、まちづくり計画を策定していく必要があり、時間を要しているところです。</p> <p>本市としましても、引き続き支援を行ってまいります。</p>
2	事業実施を先送りするだけでなく、実施が進まない理由を検証し、実施目標年度を定め、それに向けた準備を計画的に進める必要があると思いますが、そのあたりはどのように計画されていますか？	1件	<p>市としましては、事業実現のため、地域住民など関係者との合意に向け継続的に協議を行っており、事業の進行管理につきましても、毎年度検証しているところです。</p> <p>また、「彦根市歴史的風致維持向上計画」は、平成29年度末で認定期間満了を迎えますことから、庁内の関係部署とともに実施状況の評価を行い、合理的で現実的な選択と集中が可能となるよう検討のうえ、次期計画を策定してまいりたいと考えております。</p>